

令和 2 年度 授業アンケート(学生による授業評価) 報告

東海学院大学 教育研究開発センター

東海学院大学では、授業の改善とそれに基づく大学全体の教育の質向上に取り組むため、平成 16 年度より「学生による授業アンケート」を実施してきました。学期毎に、各教員が担当する科目の学生を対象として、無記名調査を行っています。授業方法に加えて、学生自身の学習への取り組みを評価する調査項目を設けています。

令和 2 年度は、専任教員・非常勤教員が希望する科目を対象として調査を実施しました。前期は授業 12 週目までに、後期は授業 10 週目までにそれぞれ調査が行われ、その結果に基づいて、各教員は学期中の授業改善に取り組みました。

授業アンケート回答学生数および回答率

【令和 2 年度前期】

表 1 専任教員担当の授業

授業数	1 授業あたりの回答学生数 (平均)	履修者数に対する回答率 (平均)
92	28.3	84.5%

学生の有効回答数:2,605

表 2 非常勤教員担当の授業

授業数	1 授業あたりの回答学生数 (平均)	履修者数に対する回答率 (平均)
23	16.7	90.0%

学生の有効回答数:385

【令和 2 年度後期】

表 3 専任教員担当の授業

授業数	1 授業あたりの回答学生数 (平均)	履修者数に対する回答率 (平均)
87	29.5	79.4%

学生の有効回答数:2,565

表 4 非常勤教員担当の授業

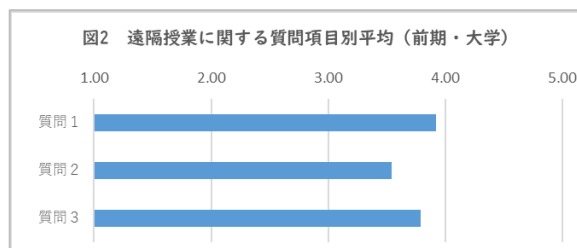
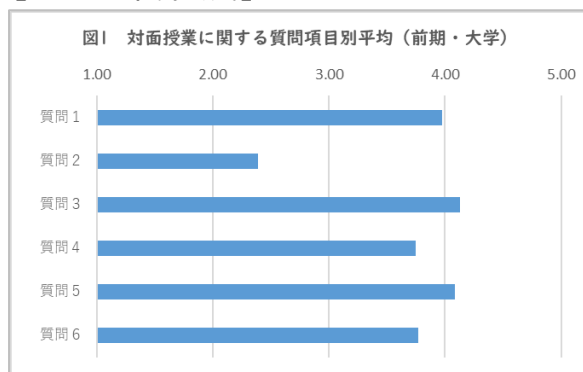
授業数	1 授業あたりの回答学生数 (平均)	履修者数に対する回答率 (平均)
17	17.0	79.2%

学生の有効回答数:289

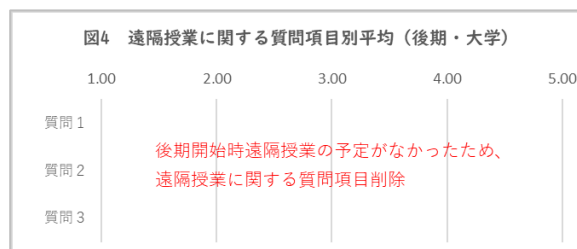
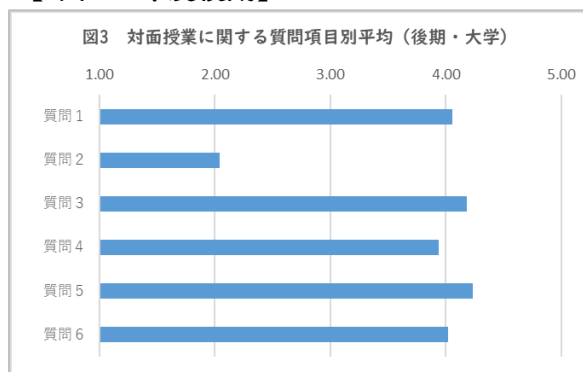
コロナ禍に実施された全学でのオンライン授業に対応するため、前期では対面授業と遠隔授業の別に質問項目を設けました。遠隔授業を通じて、学生は「授業内容を理解できた」、「対面授業を基準に十分な学習ができた」と回答しました(図2)。対面授業について、前期・後期ともに、「1回の予習・復習、レポート作成などに費やした時間は平均2時間以上4時間未満であり、「授業では、重要なポイントが示されていた」との回答が得られました(図1および図3)。各教員は、担当科目への評価結果に基づく授業改善に取り組み、学期末には、改善活動について振り返り、今後の改善方針を報告しています。

専任教員担当の質問項目別平均

【令和2年度前期】



【令和2年度後期】



対面授業に関する質問項目 (図1、図3)

- 質問1: 授業欠席回数
- 質問2: 予習復習などに費やした時間
- 質問3: 授業で重要なポイントが示されていたか
- 質問4: より学習したいと感じたか
- 質問5: 聞き取りやすかったか
- 質問6: 質問や意見が述べられやすかったか

遠隔授業に関する質問項目 (図2、図4)

- 質問1: 授業内容を理解できたか
- 質問2: 授業を通じて教員とやりとりはできたか
- 質問3: 対面授業を基準に十分な学習ができたか

注) 質問1および質問2は欠席回数や学習時間を具体的に示した選択肢を用意した項目である。値の大きい方が望ましい方向(欠席が少ない、学習時間が長い)である。